

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回弘前市スポーツ推進審議会
開 催 年 月 日	令和6年11月1日（金）
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分 から 15時40分まで
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	【議長（会長）】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長
出 席 者	【学識経験者】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長 井澤 隆昭 弘前市スポーツ推進委員会会長 矢本 諭佳子 弘前市スポーツ少年団監事 木村 宏 東奥日報社執行役員弘前支社長 渡邊 智 陸奥新報社取締役販売局長 戸沼 宏美 青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 中嶋 実樹 青森県障害者スポーツ協会理事 【関係行政機関】 小笠原 恭史 弘前市立第三中学校長
欠 席 者	對馬 大成 弘前大学教育学部附属特別支援学校教諭 沢田 明伸 弘前市立城東小学校長
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	堀子 義人 健康こども部スポーツ局長 若松 義人 健康こども部スポーツ振興課長 工藤 隆夫 健康こども部スポーツ振興課長補佐 葛西 弘典 健康こども部スポーツ振興課係長 谷澤 愛美 健康こども部スポーツ振興課主事 川村 拓 健康こども部スポーツ振興課主事
会 議 の 議 題	・第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績について ・令和7年度補助金交付計画について
会 議 結 果	事務局案で委員の承認を得た
会 議 資 料 の 名 称	・弘前市スポーツ推進審議会について（概要） ・第2期弘前市スポーツ推進計画各事業の令和5年度実績等 ・令和7年度補助金交付計画 ・第2期弘前市スポーツ推進計画

<p>会 議 内 容</p> <p>( 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 )</p>	<p>(会議内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長挨拶</li> <li>4 組織会             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 正副会長の選任について</li> </ol> </li> <li>5 諮問書提出</li> <li>6 会議</li> <li>7 閉会</li> </ol> <p>≪ 1 開会 ≫</p> <p>≪ 2 委嘱状交付 ≫ (市長より委嘱状を交付)</p> <p>≪ 3 市長挨拶 ≫ (市長挨拶後、別の公務のため退席)</p> <p>≪ 4 組織会 ≫ 正副会長の選任について</p> <p>事務局：初めに、会長の選任になります。 議事進行のため、仮議長を選任したいと思いますが、どなたかご発言はありませんか。</p> <p>事務局：いらっしゃらなければ、事務局案としましては、渡邊委員に仮議長をお願いしたいと思います、いかがでしょうか。</p> <p>(委員より異議なしの声あり)</p> <p>事務協：それでは、仮議長は渡邊委員にお願いします。</p> <p>仮議長：会長を選任したいと思います。どなたか立候補又はご推薦等ございましたらお願いします。</p> <p>委 員：田澤委員が適任だと思いますので推薦します。</p>
---	---

(委員より異議なしの声あり)

仮議長：ご異議がないようですので、会長は田澤委員に務めて  
いただきたいと思います。

会 長：議事を進めてまいります。

まず、副会長を選任したいと思いますが、立候補又は  
推薦はございませんか。

委 員：会長に一任します。

会 長：会長に一任とのご発言がありましたが、皆様いかがで  
しょうか。

(委員より異議なしの声あり)

会 長：中嶋委員にお願いしたいと思います。

(中嶋委員了承)

会 長：それでは、ただ今をもちまして組織会を終了します。

#### 《 5 諮問書提出 》

(スポーツ局長から田澤会長へ諮問書を提出)

#### 《 6 会議 》

事務局：審議会の概要について説明。

会 長：ただ今の説明に対してご意見、ご質問等はございませ  
んか。

委 員：なし

会 長：ご意見がないようですので、先ほど、弘前市より諮問  
された案件である、議題1「第2期弘前市スポーツ推進  
計画の事業実績について」に入りたいと思います。それ  
では、事務局から説明をお願いします。

(議題1) 第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績について

事務局：令和5年度の事業実績について説明

会長：ただ今の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。

委員：第2期弘前市スポーツ推進計画（以下、「計画」という。）P.7のグラフについて、運動部等加入割合は横ばいとなっているが、市内の児童・生徒数は減少していることから実数は減っているはずである。この計画の目標としては、スポーツをする人の割合が65%程度あればいいのか、それとも児童・生徒数が減る中で、その割合も高めようとしているのか。

事務局：計画の目指す大きな目標は、P.29に掲載の数値目標を達成することである。

小・中学校やそれ以前からスポーツに触れることは非常に大事であると考えているため、市のスポーツ振興という観点からは、スポーツをしている子どもの割合も可能な限り上げていきたい。

委員：現場では運動部等加入割合は下がっている実感がある。部活動離れは進んでいるため、何かてこ入れが必要ではないかと思う。

委員：計画P.6のグラフについて、スポーツをしている10代の割合がどんどん増えているのは、施策の効果が若い年代から出ていると見ればいいのか、それともコロナウイルスが落ち着いたことで元々60%近くあった割合に戻ったのか、どちらなのか。

事務局：コロナウイルスの前は10代が60%程度の割合となっている。コロナウイルスが落ち着いて割合は上がってきているため、コロナウイルス前の状況に戻りつつあると思っている。

会長：コロナウイルスの影響が3、4年あったため、令和2年、令和3年頃からスポーツをする人の割合が増えた、

事業費が増えたと言っても、コロナウイルス前に戻っただけということもある。

委員：現場にいるとスポーツ離れを実感する。部活動の加入率もどんどん低下している。スポーツ少年団に頑張っていていただき大変感謝している。クラブチームが広まり子どもたちがスポーツをする受け皿となっていることはとてもいいことだと思っているので、スポーツ少年団等の活性化のため、補助金を増やしてほしい。また小・中学生の東北・全国大会への派遣補助金は今後も続けてほしい。

本審議会の目的がスポーツの裾野を広げることなら、部活動を指導する先生が減ってきている中において、部活動アシスタント事業は広げてほしい。部活動をお手伝いしてもらえ方をボランティアではなく、部活動アシスタント事業の拡大という形で確保していくことが必要。

また、送迎、見守りなど、保護者の負担は増えている。中学校も複数校合同での組織が増えており、送迎が問題となっている。これらの理由により子どもがスポーツ離れしなくてもいいような取組を検討してほしい。スポーツ機会の確保という取組も大事であるが、スポーツできる場所までの移動を助けてもらいたいというのが保護者の思いではないか。

会長：移動手段の確保に関しては以前の審議会でも意見が出ていた。裾野を広げるためにはこれらの点にも目を向けなければいけないという意見であった。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。今後中学校の部活動が地域移行していく中で、部活動アシスタント事業はより充実していく必要があると認識している。教育委員会とも連携して協議していきたい。

委員：計画を進めていくうえで、スポーツ局、教育委員会の範疇では子どものスポーツ離れを防ぐことができないため、市長部局全体で考えていかなければいつまで経っても変わらない。

会 長：保護者の移動の援助に関する施策は今の計画等に掲載される予定はあるのか。

事務局：現在の計画に掲載されている事業はないが、今後部活動の地域移行が見えてきた段階で、これらについて考えていく必要があると思っている。

会 長：令和6年度以降の施策に反映できればというご意見なので、今後検討してほしい。

委 員：計画 P.10 に掲載の「スポーツ団体等に参加させたいと思う理想の環境」において、「活動面での保護者の負担が少ない」という意見が上位を占めている。送迎だけに焦点を当てて予算計上することも一つの方法だが、各団体へ事業を委託する中の仕様項目に送迎費等の項目を入れてもらうのがいいのではないか。

障がい者スポーツに関しては、学校開放において小学校の体育館を利用することができており、近隣の障がいのある子どもが歩いて来られる等、一歩前進したと感じている。

生涯通してのスポーツ活動となった時に様々なデータを見ると、幼児期・小学校の体育が生涯のスポーツ実施率につながっているため、学校教育を巻き込んでいくとおもしろい。アダプテッドスポーツという視点から、障がいの有無に関わらずスポーツを楽しむという取組も広がってきており、この点も学校の体育と連携しながらやってもらいたい。放課後の活動も大事だが、学校教育での体育の授業も大事だと感じている。

事務局：スポーツ団体への直接の補助金はないが、送迎に対する補助は非常に重要だと認識しているため、今後事業化できるように努めていく。

委 員：市からの委託を受けている事業においても、送迎に関わるものもあり、過去には各学校を巡回し会場までの送迎を行っていたが、免許等の関係で制限が多く長く続かない部分もあった。送迎に関しては広域のシステムがあればいいと感じる。他県では、スポーツコミッション等でトップアスリートや合宿の誘致、イベントの

実施、底辺を拡大するような送迎システムを担っている。

会 長：ほかにご意見がないようですので、「第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績」について、ご異議ございませんか。

(委員より異議なしの声あり)

会 長：それでは、原案は適正であると認め、市長に建議します。

会 長：次に、議題2「令和7年度補助金交付計画について」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(議題2) 令和7年度補助金交付計画について

事務局：計画内容について説明

会 長：ただ今の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。

委 員：「幼児体育リズム講習会運営事業費補助金」について、1年に1回の実施では人手が足りない園では、行きたくても行けない人がいるのではないかと。幼稚園協会や保育研究会などの意見も聞いて、少しずつ回数を増やしてほしい。

事務局：保育士等が不足しているという事実は承知している。関係機関のご意見も伺いながら、回数を増やすことも含めて、どのようなやり方がいいのか検討していきたい。

会 長：拡充となっている補助金の内容はこういったものか。

事務局：これまでスキー大会等に個別に補助金を交付していたものを広くウィンタースポーツの振興を目的とした補助金として統合し、交付件数も増やすことを検討していることから拡充としているもの。

	<p>会 長：ほかにご意見がないようですので、「第2期弘前市スポーツ推進計画の事業実績」について、ご異議ございませんか。</p> <p>(委員より異議なしの声あり)</p> <p>会 長：それでは、原案は適正であると認め、市長に建議します。</p> <p>会 長：そのほか事務局から何かありますか。</p> <p>事務局：今後のスケジュールについて説明。</p> <p>会 長：他に無いようですので、これをもちまして、本日の会議を閉会し、進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>《 7 閉会 》</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は公開</p>